

第3節

いきいきとした生活のための 健康・福祉の社会づくり

〔1〕 区民の健康づくりのために

- 1 生活習慣病と健康
 - (1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり
 - (2) がん予防対策の推進
- 2 心の健康づくり
 - (1) 心を元気にするためのしくみづくり
- 3 生涯スポーツの推進
 - (1) 健康スポーツ都市・江戸川の形成
- 4 感染症と健康危機への対応
 - (1) 感染症対策などの充実
- 5 食と住の安全性
 - (1) 健康食住の推進

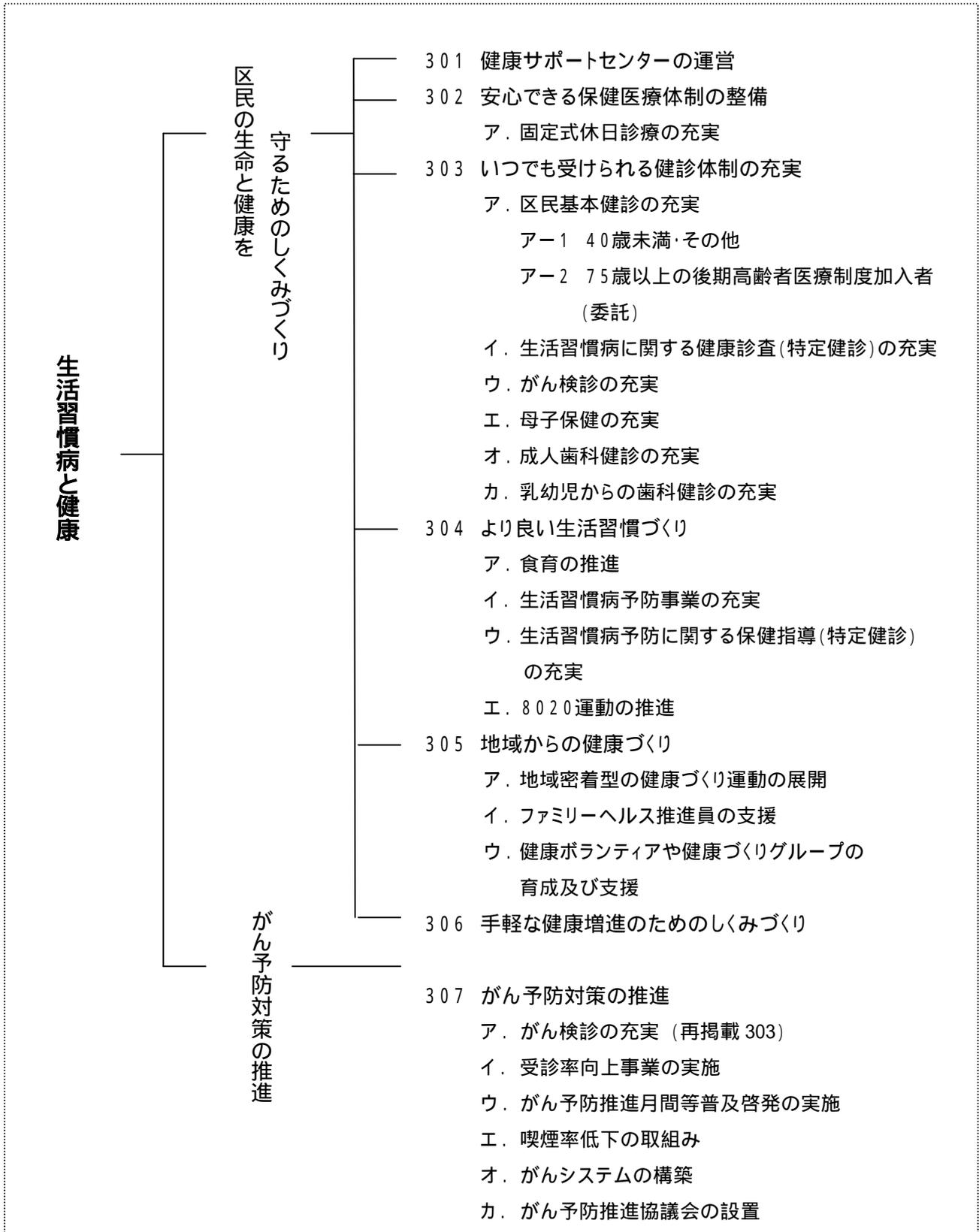
1 生活習慣病と健康

【施策の考え方】

高齢化の進展、食生活、ライフスタイル等の多様化に伴い、生活習慣病が区民共通の課題となっています。

生活習慣病は、日頃的生活習慣と密接な関係があるため、正しい生活習慣を身に付け、年齢、生活環境等に応じた健康づくりを進めることが大切です。自分の健康は自分で守り、自分でつくることを基本に、区民一人ひとりの「健康寿命」をのばすことを積極的に支援するための施策を展開します。

【施策体系図】



(1) 区民の生命と健康を守るためのしくみづくり

301 健康サポートセンターの運営

妊娠分娩期及び乳幼児期から熟年期までの健康相談、各種健診、精神保健福祉、生活習慣病予防対策、介護予防等を行う健康サポートセンターを区内8か所に設置し、生涯を通じた健康づくりを支援します。

302 安心できる保健医療体制の整備

固定式休日診療を江戸川区医師会夜間・休日急病診療所で実施します。また、従来の輪番制との連携を図ることにより、区民が安心できる医療体制の充実に努めます。

施策コード	302	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
固定式休日診療の充実	固定式休日診療事業の充実		同左	同左
事業費		30,478千円	30,478千円	30,478千円

303 いつでも受けられる健診体制の充実

健康寿命の延伸を阻害し、介護の要因となる生活習慣病を予防するため、若年層から生活習慣病予防を意識づけさせるとともに、受診対象世代の人口動態に合わせたより受診しやすい受診体制の構築を検討します。

併せて、効果的な受診勧奨を行うなど受診率向上に努めます。

また、妊婦健診や乳幼児期からの健康づくりを進め、母子保健の向上に努めます。

施策コード	303	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
区民基本健診の充実	40歳未満・その他	12,750人	12,900人	13,050人
	事業費	99,393千円	100,658千円	101,924千円
	75歳以上の後期高齢者医療制度加入者(委託)	37,600人	39,700人	42,200人
	事業費	400,646千円	423,004千円	449,641千円
生活習慣病に関する健康診査(特定健診)の充実		60,500人	62,800人	63,400人
事業費		715,026千円	742,171千円	749,262千円
がん検診の充実		123,900人	125,400人	126,900人
事業費		926,080千円	937,208千円	948,238千円
母子保健の充実	妊婦健康診査受診費助成		同左	同左
	乳幼児健診の実施 42,550人		同左	同左
事業費		676,377千円	676,377千円	676,377千円
成人歯科健診の充実		6,500人	6,550人	6,600人
事業費		54,841千円	55,263千円	55,684千円

乳幼児期からの 歯科健診の充実	乳幼児歯科事業 の実施 24,700人	同左	同左
事業費	52,772千円	52,770千円	52,770千円

304 より良い生活習慣づくり

健康で生き生きとした生活を送るため、「食」に関わる団体等との連携を通じた食育を推進します。その中で、親子・中学生を対象としたメニューグランプリ、関係団体の取り組みを推進するための食育講演会等を実施し、「食育」を更に地域へ広げていきます。

また、生活習慣病の予防には、口腔の健康は食べることに直結し運動機能を支える点でも重要であるため、乳幼児から学齢期、成人熟年へとあらゆる年代へのアプローチに歯科キャラクターを活用し、8020運動の推進を地域と連携して推進します。

健康寿命の延伸のためには、若い世代からの生活習慣が大切であり、子どもの健診等の機会を捉えて、その保護者への生活習慣改善（禁煙、栄養、運動、口腔ケアなど）を促します。

8020運動:「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動。

施策コード	304	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
食育の推進	食育推進連絡会を中心とした食育の推進	同左	同左	
事業費	2,031千円	2,031千円	2,031千円	
生活習慣病予防事業の充実	セミナー、イベント、相談・指導等の実施	同左	同左	
	食生活改善の支援	同左	同左	
事業費	2,172千円	2,172千円	2,172千円	
生活習慣病予防に関する保健指導(特定保健指導)の充実	2,343人	2,593人	2,765人	
事業費	50,376千円	55,750千円	59,448千円	
8020運動の推進	周知・啓発	同左	同左	
事業費	824千円	253千円	253千円	

305 地域からの健康づくり

生活習慣病及び介護予防を図るため、ウォーキングの啓発や推進、健康課題に関する地域出前講座を実施するなど地域の自主的な健康づくり運動を支援します。

食習慣改善、口腔ケアや口腔の機能維持向上等の健康づくりについての総合的な学習の機会を提供する中、受講者同士の自主的なグループ活動の立ち上げを支援することにより、地域の健康づくりグループなどの拡充・支援に努めます。また、家庭・地域からの健康づくりを担うファミリーヘルス推進員の活動を支援するとともに、地域で健康づくり活動を実践するボランティアの育成等に努めます。

施策コード	305	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
地域密着型の健康づくり運動の展開	健康ウォーキング大会・各種健康講座等の開催	同左	同左	
事業費	1,404千円	1,404千円	1,404千円	
ファミリーヘルス推進員の支援	活動支援 8団体340名	同左 委嘱式	活動支援 8団体340名	
事業費	8,646千円	9,246千円	8,646千円	
健康ボランティアや健康づくりグループの育成及び支援	ボランティア・健康づくりグループの育成及び支援	同左	同左	
事業費	205千円	205千円	205千円	

306 手軽な健康増進のためのしくみづくり

河川堤防上の通路等の利用を図り、サイクリングロードの整備の充実に努める等、健康増進のために、自然の中で気持ちよく散歩等が行える環境づくりを推進します。

(2)がん予防対策の推進

307 がん予防対策の推進

がん検診は、特に働き盛り・子育て世代で罹患が増加する大腸がん・乳がん・子宮頸がんについて、効果的な受診勧奨を行うなど受診率向上に努めます。

平成24年に策定されたがん予防推進計画に基づき行われてきたがん予防対策の効果について検証し、計画の見直しにつなげます。

施策コード	307	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
がん検診の充実 再掲303	123,900人	125,400人	126,900人	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
受診率向上事業の実施	クーポン事業の実施 勧奨効果の検証	効果的な勧奨の実施	同左	
事業費	13,171千円	5,156千円	5,156千円	
がん予防推進月間等 普及啓発の実施	効果的な啓発の実施 中学校出前教室の実施	啓発効果の検証 がん教育の取組	効果的な啓発の実施 がん教育の取組	
事業費	2,060千円	2,060千円	2,060千円	
喫煙率低下の取り組み	普及啓発の実施	同左	同左	
事業費	396千円	396千円	396千円	
がんシステムの運用	システムの運用 受診勧奨への活用	同左	同左	
事業費	千円	千円	千円	

「-」：事業費は、がん検診の充実(施策コード303)の中で計上しています。

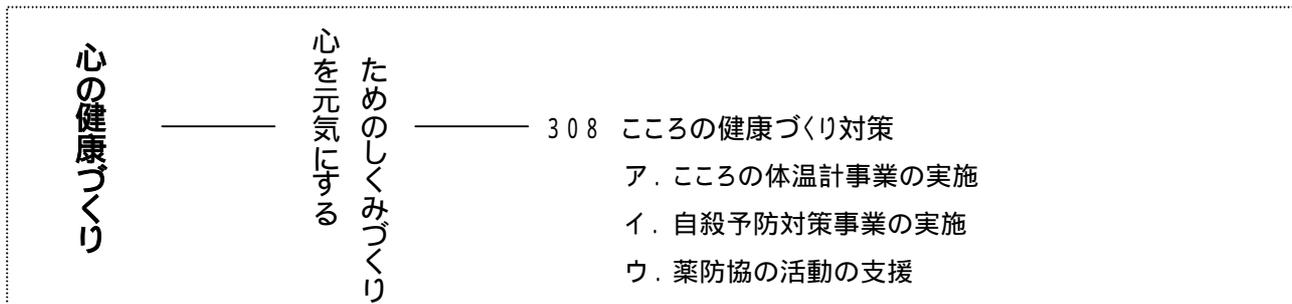
2 心の健康づくり

【施策の考え方】

ストレスの多い社会に生きる現代人にとって、「心の健康」は生活の質を左右する重要な要因の一つです。家族関係、地域社会への帰属意識等が大きく多様化する中で、高度情報化社会の進展等により、区民一人ひとりを取りまく環境はこれまでも増して変化が激しくなっています。このような変化を受け止め、心のバランスを保っていくことが大切です。

そのため、心の健康を保つための啓発、正しい情報の提供、相談支援等の心を元気にするためのしくみづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)心を元気にするためのしくみづくり

308 こころの健康づくり対策

こころの健康を維持する施策として、早期発見できる環境の構築を継続し、「こころの体温計事業」を実施します。また、自殺防止対策の人材育成として、地域の方々や全区職員を対象とした「いのち見守り隊養成講座」を実施します。「いのち見守り隊」の早期サインの気づきにより、自殺を未然に防止します。

自殺防止連絡協議会及び当事者支援事業(総合相談会、自殺未遂者支援)では、全庁内各部署、各種相談支援事業所などの地域の関係機関が連携して、相談・支援につなげます。

東京都薬物乱用防止推進江戸川区地区協議会(薬防協)の事務所として、教育委員会や学校、警察と連携し薬物乱用防止の普及啓発活動を推進します。

施策コード	308	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
こころの体温計事業の実施		メンタルヘルスチェックシステム	同左	同左
事業費		389千円	389千円	389千円
自殺防止対策事業の実施		自殺防止連絡協議会 当事者支援(総合相談会、自殺未遂者支援) 普及啓発事業(キャンペーン等) 人材育成(いのち見守り隊養成講座の実施)	同左	同左
事業費		2,532千円	2,532千円	2,532千円
薬防協の活動の支援		薬物乱用防止の普及啓発活動の実施	同左	同左
事業費		790千円	790千円	790千円

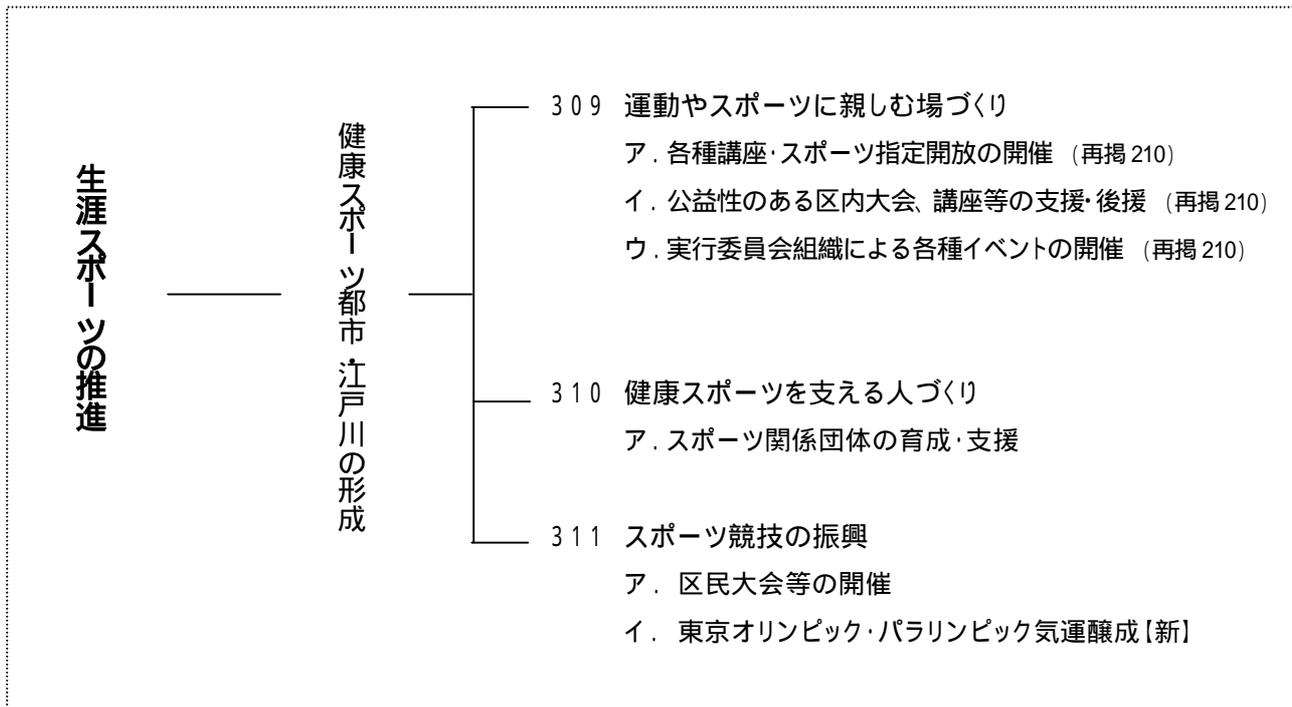
3 生涯スポーツの推進

【施策の考え方】

生活習慣病を予防し、心の健康を保ち、生涯にわたっていきいきと楽しく暮らすためには、そのもととなる身体の健康づくりを進めることが不可欠であり、区民一人ひとりが体力、興味等に応じて生涯スポーツを続けることが大切です。

江戸川区には、球場、陸上競技場等のスポーツ競技の本格的な施設をはじめ、河川敷の野球場、サッカーグラウンド、健康の道、サイクリングロード等、健康づくり、スポーツの場等が多様に整えられています。今後さらに、誰でもどこでも身近にスポーツを続けられる環境づくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康スポーツ都市・江戸川の形成

309 運動やスポーツに親しむ場づくり

各種スポーツ講座を開催し、区民の健康・体力づくりや生涯スポーツとして誰もが楽しめるスポーツの普及を図っていきます。また、各種団体と連携し実行委員会を組織し、マラソン大会等区民が安心して楽しめるイベントを開催していきます。

施策コード	309	年次計画		
		27年度	28年度	29年度
計画事業内容				
各種講座・スポーツ指定開放の開催 再掲210		開催	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円
公益性のある大会、講座等の支援・後援 再掲210		支援	同左	同左
事業費		－ 千円	－ 千円	－ 千円

実行委員会組織による 各種イベントの開催 再掲210	実行委員会による各種 イベントの開催	同左	同左
事業費	— 千円	— 千円	— 千円

「-」:事業費は、各種講座・スポーツ指定開放の開催・公益性のある大会、講座等の支援・後援・実行委員会組織による各種イベントの開催(施策コード210)の中で計上しています。

310 健康スポーツを支える人づくり

地域スポーツ活動を推進するため、スポーツ推進委員や地域スポーツ推進員等健康スポーツを支える人づくりに努めていきます。

施策コード	310	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
スポーツ関係団体の 育成・支援	育成・支援	同左	同左	
事業費	11,033千円	11,033千円	11,033千円	

311 スポーツ競技の振興

区民大会等を通して相互交流と日頃の練習成果を発揮する場として実施し、スポーツ競技の振興を図っていきます。

東京オリンピック・パラリンピックについては、2020年開催に向けた気運醸成のための区民一体となった取り組みを実施していきます。

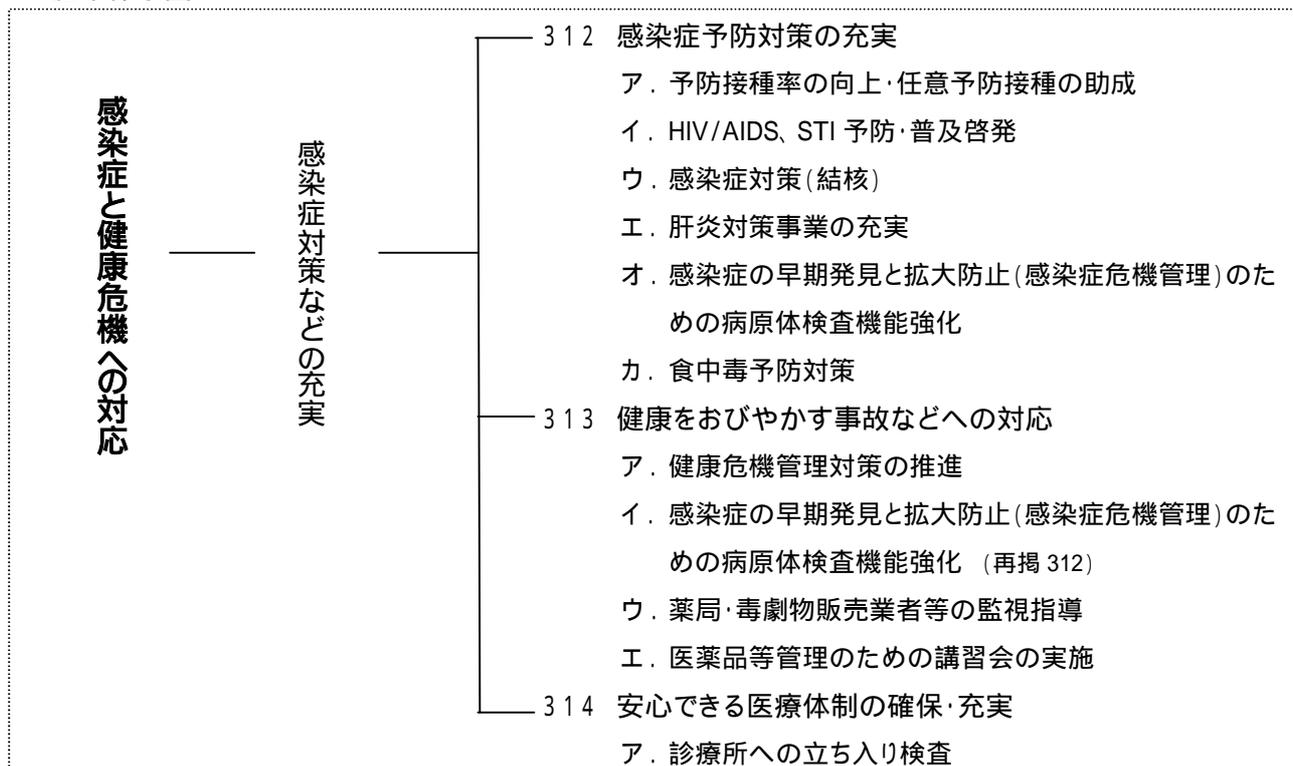
施策コード	311	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
区民大会等の開催	体育会と共催により 実施	同左	同左	
事業費	18,674千円	18,674千円	18,674千円	
東京オリンピック・ パラリンピック気運醸成 【新】	実施	同左	同左	
事業費	10,000千円	***千円	***千円	

4 感染症と健康危機への対応

【施策の考え方】

乳幼児のすこやかな成育を図るためには、麻疹、風疹等の予防接種率をさらに高めることが課題です。また、高齢の人々を中心とした、結核等の感染症に対する危険性の増加も危惧されます。さらに、エイズ、C型肝炎、病原性大腸菌等の対策も重要です。このような状況を踏まえ、健康危機の原因となる感染症等の情報を収集し、正しい知識及び情報の提供、予防方法の啓発等を行います。また、食品、飲料水等の事故の防止を図り、大規模食中毒等の健康危機等に、迅速に対応できる体制づくりを進めます。

【施策体系図】



(1) 感染症対策などの充実

312 感染症予防対策等の充実

疾病を防ぐには、効果的な予防接種の取り組みが必要となり、法による定期予防接種の接種率を向上させるための取り組みや、子宮頸がん(20歳)予防等任意の予防接種についての費用の助成を行っていきます。

また、国が定期予防接種化を予定している、B型肝炎、おたふくかぜ、ロタウイルス予防接種の実施についても、予防接種法改正等を踏まえた対応を行います。

HIV/AIDS及びSTI、結核等の感染症の予防対策の充実を図るため、HIV抗体迅速検査、結核健診等を実施するとともに、必要な情報の提供、相談支援等の体制の整備に努めます。また、B型及びC型ウイルス肝炎については、その早期発見・治療を図るため、検診・受療の勧奨、保健指導等を実施します。

区内における感染症の早期発見と拡大防止を図るため、関係部署と連携して感染症発生時の病原体検査を効率的に実施していきます。また、東京都健康安全研究センターおよび地方衛生研究所全国協議会等とも連携して専門知識や最新の技術を取り入れ、病原体検査機能の維持向上を図ります。

肉の生食による腸管出血性大腸菌などの食中毒及びノロウイルスによる食中毒について、重点的に予防対策を行っていきます。食中毒の発生と関連の深い業態を中心に立入検査を実施し、食品衛生講習会などで、事故発生時の細かい検証事例を挙げて集中的に指導を行っていきます。

HIV(Human Immunodeficiency Virus)/AIDS:後天性免疫不全症候群。HIVはその原因となる病原体。
STI(性感染症):性行為により感染した疾患の総称。

施策コード	312	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
予防接種率の向上・任意予防接種の助成	定期予防接種の勧奨と任意予防接種の助成	同左	同左	
事業費	1,631,784千円	1,631,784千円	1,631,784千円	
HIV/AIDS、STI予防・普及啓発	HIV/AIDS、STI予防・普及啓発の推進	同左	同左	
事業費	3,812千円	3,812千円	3,812千円	
感染症対策(結核)	感染症対策(結核)	同左	同左	
事業費	198,350千円	198,350千円	198,350千円	
肝炎対策事業の充実	肝炎健診の実施・保健指導	同左	同左	
事業費	10,144千円	10,144千円	10,144千円	
感染症の早期発見と拡大防止(感染症危機管理)のための病原体検査機能の強化	関係部署との連携の強化と試験検査の効率的な実施	同左	同左	
事業費	5,000千円	5,000千円	5,000千円	
食中毒予防対策	重点監視指導の実施(対象734施設)	同左	同左	
事業費	5,170千円	5,170千円	5,170千円	

313 健康をおびやかす事故などへの対応

感染症に関する正しい知識、感染予防策について情報提供を行います。また、連絡会の開催や通知により、医療機関、関係機関との連携及び情報共有を図ります。あわせて、対応体制の整備を図ります。

感染症発生時を想定した訓練を継続的に実施し、連携をより緊密にしていきます。

区内における感染症の早期発見と拡大防止を図るため、関係部署と連携して感染症発生時の病原体検査を効率的に実施していきます。また、東京都健康安全研究センターおよび地方衛生研究所全国協議会等とも連携して専門知識や最新の技術を取り入れ、病原体検査機能の維持向上を図ります。

施策コード	313	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
健康危機管理対策の推進	情報提供 関係機関との連携 訓練の実施	同左	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	
感染症の早期発見と拡大防止(感染症危機管理)のための病原体検査機能の強化 再掲312	関係部署との連携の強化と試験検査の効率的な実施	同左	同左	
事業費	— 千円	— 千円	— 千円	

薬局・毒劇物販売業者等の 監視指導	薬局・毒劇物販売業者 等の監視指導の実施 (430件)	同左	同左
事業費	2,180千円	2,180千円	2,180千円
医薬品等管理のための講習 会の実施	薬局等に対する講習会 の実施(1回)	同左	同左
事業費	40千円	10千円	20千円

「-」:事業費は、HIV/AIDS、STI予防・普及啓発、感染症の早期発見と拡大防止(感染症危機管理)のための病原体検査機能の強化(施策コード312)の中で計上しています。

314 安心できる医療体制の確保・充実

医療安全管理体制の整備、院内感染対策の実施について、平成19年度から有床診療所、平成22年度から医科無床診療所、平成24年度からは歯科診療所の立入検査を実施しています。また、医師会・歯科医師会等との連携に向けた取り組みを強化し、医療機関の自主管理体制を構築していきます。

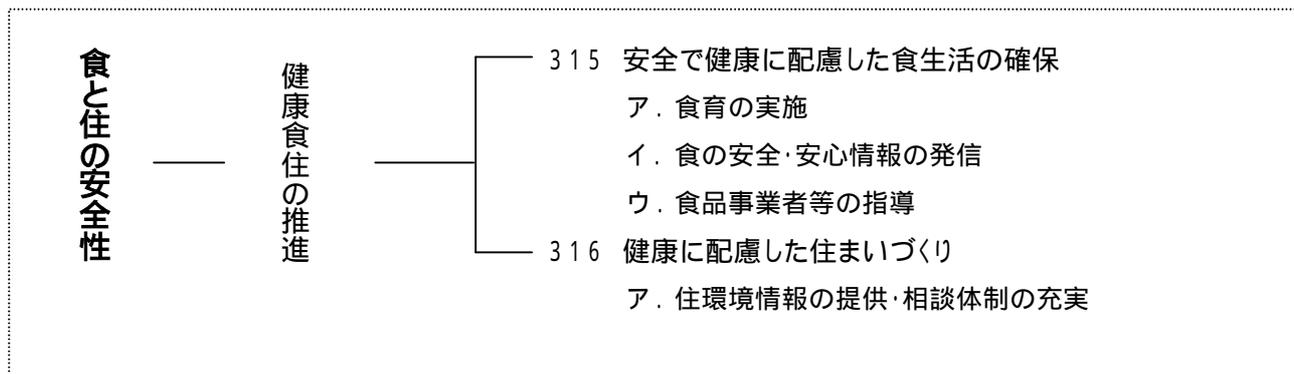
施策コード	314	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
診療所への立入検査	40施設	同左	同左	
事業費	400千円	400千円	400千円	

5 食と住の安全性

【施策の考え方】

食品の安全性に対する関心が高まる一方、輸入食品の増大、遺伝子組み替え食品の普及等が進んでいます。このような状況を踏まえ、食をめぐる環境の変化を的確に捉えることにより、区民一人ひとりの食の安全の確保に取り組めます。また、住まいについても、区民の健康の維持・増進のうえで重要な役割を果たしています。しかし、建材に使用される化学物質、衛生害虫等による健康被害も生じており、わかりやすい情報の提供及び相談体制の充実を通じた、健康に配慮した住まいづくりを進めます。

【施策体系図】



(1)健康食住の推進

315 安全で健康に配慮した食生活の確保

迅速かつ正確でわかりやすい最新の食品衛生情報を、ホームページ、ツイッター、情報誌など広く媒体を活用して発信していきます。食品衛生推進会議の提言や、区民からの意見収集により得られた知見を業務に反映させていきます。

食品衛生法の遵守と、食品安全基本法にある関係者の責務及び役割について指導します。自主管理の意識向上と情報収集の重要性を説明し、食品衛生協会への加入を呼びかけます。食品製造業を中心とした監視指導体制を構築し、HACCPの段階的導入及び食品表示法の施行に対応していきます。

HACCP:食品の製造・加工工程のあらゆる段階で発生するおそれのある微生物汚染等の危害をあらかじめ分析し、その結果に基づいて、製造工程のどの段階でどのような対策を講じればより安全な製品を得ることができるかという重要管理点を定め、これを連続的に監視することにより製品の安全を確保する衛生管理の手法。

施策コード	315	年次計画		
計画事業内容		27年度	28年度	29年度
食の安全・安心情報の発信		ホームページなどの 情報提供の充実	同左	同左
事業費		1,170千円	1,170千円	1,170千円
食品事業者等の指導		事業者講習会受講の 指導(年間16回)	同左	同左
事業費		8,710千円	8,710千円	8,710千円

316 健康に配慮した住まいづくり

健康で快適な住環境の確保を図るため、アレルギー性疾患の原因の一つであるダニアレルゲンに関する検査の実施や感染症を媒介する害虫を含めた発生源対策を指導するなど、安全な住まいに関する情報の提供と相談体制の充実を図ります。

施策コード	316	年次計画		
計画事業内容	27年度	28年度	29年度	
住環境情報の提供・ 相談体制の充実	ダニアレルゲン検査 (200件)	同左	同左	
	衛生害虫の防除・駆除 方法の普及啓発	同左	同左	
事業費	540千円	540千円	540千円	

